

メインヒロイン

◆死神 ナチ

・D.S な死神

・ダウナー口調

・少し幼めな印象

CV：君野りる様

キャラクターのイメージ

喋り方や、声の雰囲気・ささやき具合などは上記作品を参考にしていただけるといいかなと
思います。

◆おはなし

死人の魂を浄化するために死神がそれぞれ自由な方法で磨き上げる。

水で溺れさせたり、拷問器具で痛めつけられたり様々だ。

あなたは死神のナチのものと、魂を浄化されることになったのだがその方法はあなたの耳を
舐め尽くすという異端なものだった。

死してなお煩惱を失わないあなたはナチの言葉の槍と甘美な舌遣いにグサグサと滅多刺し
にされる。

果たしてあなたに安息の日は訪れるのだろうか。

1. 三途川下り

耳なめはいやらしい感じではなく、ごりごりと攻めるような感じでお願いします。

喋るときは無聲音^{7,8}割で少し有聲音が混じるようなしゃべりかたでお願いします。

会話速度

全体的に10段階の2か3ぐらいでお願いします。

舟の上に浮かぶ音

正面20cm

おはようございます。

少女が自分の顔の正面にあり、あなたは驚く

私の名前はナチ。死神のナチ。

死者を冥界に送り届けるため この三途の川の渡し守をしています。

…見たところまだお若い方のようですね。

いかなる事情であつたとしてもここへ来た以上、魂の番人であるわたしに逆らうことはできません…。

右前 15cm

わかりますね？

あなたは私の言われるがまま、されるがままというわけです。

あなたの魂が浄化されるまであなたの自由は許しません。

一度だつて許したことはない…。

せいぜい楽しい悲鳴を聞かせてくださいませ…。

だんだんゆつくり。寝かしつけるように。

だんだん右耳元へ

早速浄化を初めてまいります…。

お隣失礼しますよ…

耳舐めが前後にある部分は耳舐めしながら曖昧に喋つてください。

台本上ではちゃんとした表記で描いてはありますが、喋るときは崩してください
つて大丈夫です。

（例耳を噛まれるのは苦手でいらっしゃいますか？→ みみをかまれるのは

にはへへいらっしゃいましゅか？

みたいな感じになると思います。

ただ全部やつてしまふと意味がわからなくなる場合があるのである程度君野

りるる様の裁量におまかせします

ここは大事だなと思う部分はユーザーに聞こえるよう丁寧に喋つていただけ
ると。

しばらく右耳元でささやき

はあむ…あーむあむあむちゅるちゅるちゅる…あむあむあむ…れろれろれろれろ…。

これが私の編み出した魂の浄化法…。

あーむ…んちゅ…原始的ではありますが、これがもつとも確実に魂を清めることができ
るのです…。

あーむ。んん…あむあむあむ…れろれろれろれろ。

單語で区切つてるのは耳舐めしやすいように助詞を省いてます。

キャラであえて助詞を省いてそうしてゐるわけではないです。

脳 時間 かけじっくり刺激することで 何も考えられなくする。

じきにあらゆる業は消え 魂の穢れ 消える。

あむあむあむ…。れろれろれろ…んちゅ…あむあむあむ。

耳 噛まれるの 苦手ですか？あむあむあむ…ん…あむあむあむ…ちゅるる…。
れおれろれろれろ…。

△このあたりの設定などをちゃんと説明しようと頑張って発音すると

耳舐めの没頭感が削がれるので多少聞き取りづらくてもいいので曖昧に喋つてください。

ここ 時間の概念 ありません…。凍てついた時の空間…。あむあむあむあむあむ…。

あなたには 幾千幾万の時 感じるほど 気の遠くなるような時間。れろれろれろれろれろれろ…

ろ…

あむあむあむ…。んちゅ…あむあむあむあむ…。

いい声で鳴かれる ですね…。

初めのうちが一番嬉しい…。れろれろれろれろ…。

あなたにとつても わたしにとつても…。

だつて… みんなこの刺激に耐えられず ちゅる… 声を上げてしまう。

あーむあむあむあむ…あーむあむあむあむ…。

ここ 虐められることのない 辱め 快感に 襲われる。

今まで受けたことのない 辱め 快感に 襲われる。

…あむあむあむ…れろれろれろれろれろ…。

敏感な部分 弄り回され 恥辱で頬を赤らめる…。みんな 可愛く鳴く。

わたしはそれがみたい//

あなたも 泣いて。ほら

あーまあまあまあまあ…。ちゅるちゅる…。

(耳舐め20秒)

ああ…本当にいい声…あまあまあ…いい顔 れろれろれろれろ…れろれろれろ…。渝
しい…はあ…はあ…。

あなたも 甘美な声 です… あまあまあ…その…大変よろしい です…。

あまあまあ…渝しいです…れろれろれろ…いい声…。

そのまま 元気に鳴いて// れろれろ…鳴き続けて…ほしい…。

ちゅるる…あまあまあ…その方が 私もやり甲斐 あります から…。

あーまあまあちゅるちゅるちゅる…鳴いて…れろれろれろ…そう…れろれろれ
ろれろ…。

れろれろ…もつと…あーまあまあまあ…れろれろ…声 いい… あまあまあ…
まあまあ…

この方法の素晴らしいところ あまあまあ…死んだって事実に狂乱せず 魂を鎮め
られること…。

あーまあまあちゅるちゅるちゅる…あまあまあ…あまあまあ…。

…ただでさえ死んだのに、なおもいたい、つらい思い しなくてはいけないなんて…可

哀そうですよね。

あーむ あーむ。れろれろれろ…。

私より もっと乱暴で 残虐な死神 います…。あーむあむあむあむ…。

いたぶられるより よっぽどマシでしょう？ あむあむあむあむ…。

あーむあむあむあむ…あーむあむあむあむ…。

いま私のこと 優しいっていいました？

あーむあむあむあむ…あむあむあむ…。そう思われるの 結構ですが どうでしょうね

…。あーむ。あーむ。

魂に刻んだ色 じっくり剥がされていく ちゅるちゅる…それって案外辛いものです
よ…。

己の存在 自分とは何か れろれろ…れろれろ…それがだんだん だんだんと わか

らなくなっていくのですから…。

あーむあむあむあむ…れろれろれろれろ…。

じきにわかる時が来るでしょう…はーーーー。

あーむあむあむあむ…れろれろれろれろ…。

今は…まだいいですよ。あむあむあむあむ…気持ち良くなつていただいても…愉し

んでいただいても…

れろれろれろれろ…あなたの声が聞きたい。れろれろれろ。可愛く鳴いて…//

(耳舐め 30秒)

だんだんドSの本性が目覚めていくナチ

無感情に思えた彼女の感情が少しづつ豊かになつていくようすがわかるとい
いかもしません。

…こんな耳だけ 執拗に犯されて どんな気持ち ですか…。あーまあまああむ。

どれほど永く、多くの魂を舐めてきた私でも、あなたの心まで 触れるることはできない。

…あーまあまああむ…れろれろれろ…。

舐めて・舐めて…舐め続けてきた…。魂を清めるため。あーまあまあ…れおれろれ

れろ…れろれろれろ…。

でも…おかげで私は人が気持ちいいと感じる場所 すぐにわかる。そこを攻め続けるこ

とで喜びを見い出すようになるほど。れろれろれろ…。

ここでしょ…ねえ…あーまあーまれろれろれろ…これが気持ちよいのですよね…

れろれろれろ…。

ふふ…涙。

泣いていらっしゃるんですね…嬉しい…そんなに喜んでいただけで光栄です。

あなたみたいな人が来るから…私 やり甲斐があるんです。

//は頬が紅潮してたり、照れたり、恥ずかしくなつてたりする表現です。

れろれろれろれろ…れろれろれろれろ…。さあ もっと声を聞かせてください//

だんだん舐め方か、位置をズラしてください。

あーむあむあむあむちゅるる…ん…はあむ…れろれろれろれろ。

あ、ここも 弱いんですね…れろれろれろ…れろれろれろ…。

では…ここ、こうされると どうですか…?じゅる…れおれおれおれお…。ああ、

ここも…れろれろ…れろれろれろれろ。

すごいです…あなた…弱くて可愛いくらい。あむあむあむあむ…

弱くとも容赦はしませんが…

(耳攻め だんだん激しく)

言つたでしよう?これは魂の浄化だと。

安らぎを与えるためのものでもありません…れろれろれろ…。

よほど高潔な魂出ない限り…こちらで安息など与えられない…。あむあむあむ…。

あなたの全ての業を消し去り、一切をゼロにするためのものですから。あむあむあむ…だから…れろれろ…ご褒美などではありません…。

勘違いなされませんように…。

れろれろれろれろ…れろれろれろれろ…

… いずれあなたは、少しずつ思考ができない状態になります。

それまで愉しんでいいですよ…。れろれろ…少しの間だけ…ね。

れろれろれろ…あーむあむあむあむ…。ちゅるる…。ん…

(耳舐めやわらかく優しめで)

TR2 被虐業ノ清メ

ドSなのにあえて優しい雰囲気で演じてください。

反転 左耳もとく やややき

優しく温かい感じで

ほら…こっちのお耳も…

れろれろれろれろ…れろれろれろれろ…れろれろれろれろ…。

ふふ…びくびくして…。あむあむ…あむあむ…こっちの方が感じやすいようです…。や

り甲斐がありそう。

じゅるじゅるじゅる…れろれろれろれろ…れろれろれろれろ…。あむあむあむ…。

だんだんナチのSつ気が開花していきます。

声は淡々としているほうがいいです。

煽らない。

あーむあむあむあむ…れろれろれろれろ。ここもお好きなのですね…。れろれろれろれろ…。おや…私の太ももに何か硬いものがあたつてているような気がします…。れろれろれろれろ…。

嬉しそうに

快感と恥辱で涙を流しておられるというのに、こんなにされでは

まるで ご褒美を与えて いるよう…。

れろれろれろれろ…れろれろれろれろ…れろれろれろれろ。

どうして…? どうしてここ こんなになつてるんですか?

もしかして… 攻められるのお好きなんですか? (歓喜)

あーむあむあむあむ…れろれろれろれろ…。

イジメられるのとか…汚いものをみる目をされるのとか…お好きなんですか。 (歓喜)

変態ですね。

あえて優しく温かい声で

あーむ…あーむ。

豚…。そう 豚とよばれるのがふさわしい…

自分でそう思いますよね…。ね?

あーまあまあまあ…れろれろれろ…。気持ち悪いですよ?

れろれろれろ…。普通に…気持ち悪いです あなた。

れろれろれろ…れろれろれろ…れろれろれろ…。

おや…もつとなじってほしそうな顔していますね。れろれろれろ…れろれろれろ…。
ろ…。

意地悪なことを言つてほしいんですね?

ね? 隠さないでください…あーまあーむ…れろれろれろ。

少しずつ息遣いが荒くなつていくナチ

ああ…うなづいてらっしやる…//

では、私も遠慮なく…言わせていただきます。はあは…。

優しく

ねえ…豚さん…あまりこちら 見ないでもらえますか…はあは ほんと 気持ち悪

いですよ? はあは…あまあむ…

れろれろれろ…れろれろれろ…。

あなたのようなキモ豚の悲鳴 聞きながら これからずうーっと 犊め続けないといけないなんて…

本当 さいこ…いえ…最悪です。はあはあ…

あーむ…あーむ…れろれろれろ…れろれろれろ…れろれろれろ…れろれろれろ。

ほら…私の脚に ア・レ あたつてるつて言つてるでしょ？

あえて優しく嬉しそうな声で

なのにどうして さらに大きくしてるんですか…

豚さん？？？

恥ずかしいっていいながら、苛められるの あむあむあむ…嬉しくてたまらないんでしょ…？

だからここ 肥大していくの あむあむあむ…止まらないのですよね…変態さん。

あむあむあむ…あむあむあむ…。ああ…気持ち悪い…あむあむあむ。気持ち悪いです…

はあ…はあ//

あなたのような被虐の業にまみれた魂 あむあむあむ…触れられるなんて…こんなうれし…最低な日はありません…。

じゅるじゅるじゅる…れろれろれろ…。ねえ豚さん…？

さつきから いつたいどこ 見てるんですか？

人の胸元を見て…気持ち悪い豚…れろれろ…もっとお仕置きしますよ…。

さらに激しく舐める 圧を強める

はーむ。れろれろれろれろれろれろれろ…

れろれろれろれろ…！れろれろれろれろ…！

死んでもだめなんですね…。

死んでも直らないなんて 手の施しようがないです。

れろれろれろれろ…

やはり…身体でわからせるしかない…

圧強めの耳なめ

じゅるじゅるじゅる…淨化されなさい。

れろれろれろれろ…！れろれろれろれろれろれろ…！

不本意ではあります 私がじっくり時間をかけ改心させてあげます…

れろれろれろれろ…！れろれろれろれろ…

えつちな雰囲気になつてOK

でもHになり過ぎないように注意です。

汚れた魂…じゅる…あーむあむあむあむ。ああ…煩惱の味…／ れろれろれろれろ…濃い

…れろれろれろ…おいしい…ちゅるちゅる…

(耳舐め たまに はあ、はあという息遣いをしたり 豚さん// と呼びかけ
てください)

あえてゆつたり優しい声で

ねえ豚さん…なんでこんなに気持ち悪いんですか？はあは…あむあむあむ…。

膨らみ ゼンゼン…隠せていませんよ…あむあむあむあむあむ。ちゅるちゅる…。

謝って済む問題ではありません…。

初対面のわたし…しかも死神に欲情するなんて不謹慎です…。

あーむあむあむ…れろれろれろ…。

そんなつもりはないとおっしゃりますが、こうやつてあなたの性器の状態を咎めると、

より興奮しているようですが？

優しく慰めるように舐めてあげてください。

ほんと…どーしようもない…あーむあむあむ。あーむあむあむあむ…。

だつたら 離しますよ？ 私の太ももから…おちんちん…

なんですか…その顔…。

少し間を開けて

…なら ちゃんと言つてください。

ナチ様…私に慈悲をください。

私は汚れた魂のキモ豚です。と。

太もも当ててくださいと…。

ほら…早く。

…ふつ。

よくできました。

おねだりが上手なんですね 豚さん…

わかりました。

仕事だから仕方ありません…ね。

嬉しそうに

はあ…はあ…ほらもつと、こっちに来てください。…お慈悲 あげますよ。

太ももの感触…感じながら…ほら…。

はーむ。あむ…あむ、ああ…自分から押し当ててくる…ああ…気持ち悪いなあ…。

これはもつとお仕置きしなきや…。

だんだん勢い・圧・速度を増していく

あーむあむあむあむ…れろれろれろれろ…れろれろれろ…れろれろれろ…

もっとほら…おいで…れろれろれろれろ…れろれろれろ…れろれろれろ…

…汚い部分あててごらん すりつけてごらん…情けない豚あ…。

れろれろれろれろ…おねだりしてください 豚さん 、はあ……声…ききたい はあ…

名前…呼んで…私の…ナチのことを呼んで…はあはあ…

あ…そう…呼んで…あむあむあむ…れろれろれろれろ そう…そうつ れろれろれろ

れろ…かわいい…あむあむあむ…れろれろれろれろ。

ほんと、豚さん だめだめ…れろれろれろれろれろれろれろ…！ しそうがない子です

…れろれろれろ！

あそこがあたつて…押し付けて…喜んで…。

はあ…はあ…不潔で淀んだ魂…れろれろれろ…れろれろれろ…。

お仕置きが必要ですね…れろれろれろ…れろれろれろ…

だんだん激しく舐める

(耳舐め40秒 たまに豚さんと呼ぶ)

豚さん…豚さん…。

おやおや…気持ちよくなつて…ますね…。

でも、寝てはダメですよ。死者に睡眠なんて必要ないんですから…。

24時間ずっと、魂の洗礼に専念してください。

もし眠つてしまつたら…そのときは…。

あーむあむあむあむ。れろれろれろれろれろ…。

そのときに教えてあげます…。

大丈夫…悪いようには…するかもしませんね。

れろれろれろれろ…。ほら、豚さん休んでる暇などありませんよ…。

れろれろれろれろ…れおれおれおれおろ！れおれおれおれお！

(耳舐め　圧強め40秒)

TR3 入水耳舐め

水中で言葉責め

エコーをかけて左右から耳舐め＋ささやきで虐めます。

右耳もと ささやき

おはようございます。

あなたがしばらく目を覚まさないから…起こしてあげました。

ここは川の中…。業の深さに応じてその魂は深く沈んでいくのです…。

私がいって言つていないので、洗礼中に眠つてしましましたね…豚さん。

だめだつて言つたじやないですか…勝手に寝たら。

沈んでいく、重みを感じるようなオノマトペ

正面から回つてだんだん左耳元へ

ブクブクブク…ブクブクブク…重くて苦しいですか？

正面から回つてだんだん右耳元へ

ブクブクブク…ブクブクブク…よかつた…これでも気持ちいいって言われたらどうし

ようかと思っていたところです。

ブクブクブク…ブクブクブク…。

だんだん正面へ 5 cm ぐらい

ああ…浮き上がるうと手を離さない方が良いですよ…。

もし私の手を離したら…二度と川底から這い上がるることはできませんから…。

…地獄へ行きたいのでしたら別ですが…。

本来苦しませるというのは私のやり方にそぐわないのですが…勘違いされても困りますので、

今のうちに釘を刺しておこうと思いまして…。

だんだん右耳元へ

ご褒美ではないですからね…。

はあむ…あむあむあむ…あむあむあむ…あむあむあむ…れろれろれ…。

れろれろれろれろ…。苦しい…気持ちい…苦しい…気持ちい…苦しい…

…何か 思い出しませんか？

れろれろれろれろ…れろれろれろれ…。

喜び…苦しみ…希望と絶望…繰り返されていくのはまるで…

そう…生きるということ。

れろれろれろれろれろ…れろれろれろれろ…。

あむあむあむ…弛みなくその2つの波が押し寄せて 引いて 流され…削られ…時に
は抗つて…『あなた』の魂は創られた…。

れろれろれろれろ…れろれろれろ…。

死して記憶を失つたせいで もう米粒程度にしか感覚が残つていないのでしょうが…

苦しみと喜びの波…。思い出せるでしょうか…。

優しく舐めてあげてください。

あむあむあむ…あむあむあむ…あむあむあむ…あむあむあむ…。

(耳舐め)

優しく語り掛ける

ようやく 死んだということがだんだん身に沁みてきたようですね。

切ないですか？ それとも…

失くしてスッキリしましたか？ あーむ。れろれろれろれろ…れろれろれろれろれ
ろ…。

…どんな思い出でも…失くしてしまふと少しは物悲しくなるものですかね…。

ちゅ…あーむ。あむあむあむ…あむあむあむ…。

…でも、関係ないです…。

あなたがどう思おうと 関係なく…あちらとお別れをさせるのが死神の役割なので…。

優しく

あむあむあむ…あむあむあむ…れろれろれろれろ…れろれろれろれろ…。

深くて…冷たくて…重たい…。でも、温かい…柔らかい…優しい…あーむ。あむあむあ…あむ…あむあむ…。

あなたにのしかかる全てを 甘んじて受け入れなさい…。 あーむあむあむ。あむ

あむあむ…あむあむ…。

そうすれば…自然と身体はラクになります。 じきに浮かんでいきますから…。れーろ

れろれろれろれろ…。

どんな災難も苦難も…全ては避けようがない…そうだつたでしょ。

流れに身を委ねるしかない…。 ちから…ぬいて…あーむあむあむ。 そう…。

ぶかぶかぶか…ぶかぶかぶか…ぶかぶかぶか…。

わかりますか…。 少しづつ…少しづつ…あなたの身体が浮いていくの…。

れろれろれろれろ…れろれろれろれろ…。

あなたにできるのは…

自分にできることと、どうにもならないことを区別することだけだつた…。

ちゅるる…れろれろれろれろ…。

世の中どうにもならないことのほうが多いのに、どうにかしようとするから自然と身体は沈んでしまう…。

あーむあむあむあむ。あむあむあむ…あむあむあむ…。

賢い人ほど、自分にできることを知っているんです…。

だから決して溺れたりしない…業が軽いから…水面に浮かぶほどに。

あーむあむあむあむ。　れーろれろれろれろれろ…。

ぷかぷかぷか…ぷかぷかぷか…浮かぶ…浮かび上がる…ぷかぷかぷか…ぷかぷかぷか

…そう。楽に…力をぬいて楽に…。

ブクブクブク…ブクブクブク…沈む…沈みゆく…ブクブクブク…ブクブクブク…無力

な自分を責める心があるから。

ふたつの力があなたにかかる…。ちゅるちゅる…あーむあむあむ。あーむあむあむ

あむ。

安心してください…。あむあむあむ…あむあむあむ…。

だんだん右耳元へ

おおよその人はこのように沈むのです…。れろれろれろれろ…。

あなたもその例外ではなく理想の自分の姿との乖離に悩んでいた。れーろれろ。

重たい…重たいとその業に苦しんでおられたのでしょうか…。

あーまあまあまあ。れーろ…れろれろれろれろ…。

よりよく生きたいと思うのは人間の性（さが）です…。

あまあまあ…あまあまあ…れろれろれろれろ…。

あなたが沈んでいくのは…それだけあなたが一生懸命生きていた証…。

あまあまあ…あまあまあ…れろれろれろれろ…。

はい。…お手をどうぞ。

ちゅるちゅる…あまあまあ…あまあまあ…あまあまあ…あまあまあ…。

豚さん…。わたしはあなたの味方にはなりません。

…あなたが泣こうが喚こうが、あなたの業…つまり人間性というものを失わせるだけです…。

あーまあまあ…あまあ…あまあ…あまあ…。

あなたが生まれてから身に着けた 善良な心 たとえば人を思いやる心、他人に対する

関心。

…そーいうものも全て、持つていくことはできない…。

あまあまあ…あまあ…。

あなたがあなたでなくなる…怖いでしょか?

：『少し』…ね。あまあまあ…あまあまあ…。

よしよし…。怯えなくて大丈夫です。

あまあまあ…あまあまあ…。あまあまあ…れろれろれろれろ…。

よしよし…。よしよし…。れろれろれろれ…れろれろれろれ…。

まだ少し…重たいかもですが…じきに浮かび上がるでしょう…。

あーまあまあまあ。れろれろれろれ…れろれろれろれ…。

安心してください…。

誰もあちらには何も持つていけないです…。

ちゅ…ん…あまあまあ…あまあまあ…れろれろれろれ…。

手を握り返してごらんなさい…。

そう…決して離さないように…。私が責任をもつて…あなたを送り届けます…。

だから、あーまあまあまあ。あなたの魂にもつと触れさせて…。

れろれろれろれ…れろれろれろれ…

(耳舐め)

TR4 薄レ往ク記憶ノ耳舐メ

耳舐めにより剥がされていく自我。

だんだん自分がわからなくなつていく。

切ない雰囲気が感じられるトラック

しばらくTR3から時間が経つてます。

舟の上です。

左耳元でのささやき

あーまあまああむ…あーまあまああむ…。

豚さん…豚さん…。あれからどれほどの時が経つたんでしょうね…れろれろれろれろ…。

あーまあーむ。ちゅるちゅる…。舐めて舐めて…なめ尽くしてきました。

…もう精根尽き果てて…こんなに密着しても元氣にすることもなくなりました…。あむ

あむあむ…。

私がどんなになじつても、どんな冷たい眼差しを向けても、喜んでくれなくなりました

…。れろれろれろ…れろれろれろ…。

少し寂しいです…。あーむ…あむあむあむ…れろれろれろ…。

でも、あなたにとつてはきっと喜ばしいこと…のはず。あむあむあむ…あむあむあむ…。

余計な業を背負うから舟は重たくなる。れーろれろれろれろ…。れろれろれろれろ

…。

三途の川をわたり切る前に溺れ 沈んでいくのです…。

寂しそうに。

よかつた…。これで無事にあなたの魂を無事向こうに送り届けることができますね…。

れーろれろれろれろ…れろれろれろれろ。

ん…。なんですか…この手は。頭、触つて…。撫でて。

…ありがとうございます？

…そうですか。

お札を言われたのはどれほど久しいことでしょうか…。思い出せません。

あーむあーむ…あむあむあむ…。

でも、何もありがたがる必要はありませんよ。

あなたの業を精算するのが私の仕事なんですから…れろれろれろ…。れろれろれろ。

人の人間性を奪うことしかできません…。

早くならないように注意してください

ふふ…豚に憐れまれるなんて…最大の侮辱です…やめていただきたい。

あーまあーむ…。れろれろれろれろ…。

辛くはないです。平氣です…。あむあむあむ…。

ただ…いろんな方がいるんだなあって思います。れろれろれろれろ…。れろれろれろれろれろ…。

ろ…。

あつさり記憶を棄てる人もいれば、大切な人との思い出を守るために必死に抵抗する人もいました。

あなたはどちらかというと、前者なんですかね…。あーまあーむ…私のことを思いやつての余裕がある人。

そんな人いたかもしれないし…。どうだったでしょう…思い出せない…。

あーまあーむれろれれれろ…れろれれれれろ…。

どのような理由であなたがここにいらしたか、今のあなたが知る由もないでしょうが、かの世に未練を残さず、自分が死んだなどと簡単に割り切れるものではありません。あ

ーむ…あまあまあむ…。

誰でもやりたいことのひとつやふたつ…あるものですからね…。あまあまあ…あまあ

まあむ…。

たとえば……そう。好きな女の子に自分の気持ちを伝えたかった…なんてこと。あーまあ
まあまあ…れろれろれろ…。

おや…誰かの顔が頭によぎりましたか？

珍しい。己の被虐の業が失われたのに、他者のことを覚えておいでなのですね。あーむ。

あむあむあむ…あむあむあむ…。

そういうの…すごく良いと思います。

あーまあーむ…れろれろれろ…れろれろれろ。

そうですか…言えなかつたんですね…あなたも。

好きで、好きでたまらないのに、来る日も、大切な想い人のことを考えてしまうのに…

だからこそ言えない…気持ちを伝えられない。

あーまあーむ…あーむあむあむちゅるちゅるちゅる。れろれろれろ…。

いつか、いつの日にか自分の気持ちを伝えようと思うけれど、今の自分には大切な人に

釣り合うにはなにかが欠けているような気がする。

あーまあーむ。れろれろれろ…。

ええ…わかりますよ…。あーむ。あーむ。

あなたは人のことを思いやるがあまり、自分にとつての最善を我慢してしまってはい

…。

おそらくそれこそがあなたの最大の業でしょう……あーむあーむ。あーむ。

恐らく私が最期に奪わなければならぬあなたの業……それは……やさしさ…。
魂の輝き…。あむあむあむあむ…全部…いただきます。

れおれろれろれろ…れろれろれろれろ…。

(耳舐め)

だんだん右耳元へ

あなたには 恥ずかしい人 恥ずべきことの違いがわかりますか?

あーむ。あーむ。

失敗・敗北・貧乏・不細工。

生きていればありとあらゆる現実があなたに劣等性を突きつけてくる。ちゅるる・あー

む。

恋愛における失恋はいわばそのうちの最たるものといえるでしょ…。あむあむあむ…れ

ろれろれろ…。

でも、それらは決して恥ずべきことではなかつた…。

冷静に考えればあなただつてわかつていたはず。

あーむ。あーむ。んちゅ…。

大丈夫ですよ。

あなたは何も恥ずべきことはしていなかつた…。

魂の味からわかりますよ…。あーむ。れろれろれろ…。れろれろれろ…。

人を騙して儲けたり、見栄を張るために嘘を重ねたり、友人を裏切つたり、弱いものを力で押さえつけたり…

恥すべき生き方をしてしまう人間の多いこと…。

もしあなたがそうであれば三途の川の深くに沈んでいたことでしょう。

よかつたですね：浮かんでこれて…。

あーむ。れろれろれろ…れろれろれろ…。あむあむあむ…あむあむあむ…。

（耳舐め30秒）

：豚さんはただの被虐的な変態の恥ずかしい人ですよ。くす…。

どんな人間にも必ず業は存在するんです。

あなたは恥すべき生き方をしてこなかつただけで、清廉潔白な色をしていたわけではある人などいませんから…。

嘘をついたり、ないものをねだつたり、他人を恨んだり…そういうものと無縁でいられる人などいませんから…。

あーむ。れろれろれろ…れろれろれろ…。

きれいな色…醜い色…惹かれる色…切ない色…様々な色の魂を見てきました。

私達死神からすれば、どうしても比較してしまうのですが、

ここ3行は耳舐めを外してはつきりと喋ってください。

でもあなたたちにとつて魂とは誰とも比較するものではないでしょう。

あなたが死ぬ間際に見た一瞬の輝き。それがあなたの全てです。

その輝きを見るために皆、自己研鑽に励むのですから…。

れーおれろれろれろれろ…。あーむ…れろれろれろれろ…。

さあ…そろそろ終焉の時間です…。

目を閉じて…力を抜いてください。

そう…あーむあーむ…れろれろれろ…。

心地いいですか…? あーむあーむ…れろれろれろれろ…。

お別れのときが近いです。

あむあむあむ…あむあむあむ…れろれろれろれろ…。

れろれろれろれろ…れろれろれろれろ…。

さようなら…豚さん…。

全部忘れてもまた…愉しい人生を送つてください。

あーむあむあむあむあむあむ…あむあむあむあむあむ…